

第24号

◎発行日：平成27年8月1日(土)
◎発行：東京都合気道連盟
〒162-0056
東京都新宿区若松町17番18号
(公財)合気会内
電話：03-6457-3315
FAX：03-6457-3317
発行人：藤城 清次郎
編集責任者：小林 正明

合気道

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



東京都合気道連盟主催行事スケジュール

①合気道広域合同稽古

平成27年 9月17日(木) 18:30~20:30 場所：東京武道館 講師：伊藤 真 (公財)合気会本部道場指導部師範
平成27年 11月12日(木) 18:30~20:30 場所：東京武道館 講師：森 智洋 (公財)合気会本部道場指導部師範

②体育の日記念行事 平成27年10月12日(祝・月) 場所：東京武道館

③平成27年度 東京都合気道演武大会 平成27年10月25日(日) 場所：東京武道館

第三十二回東京都合気道連盟評議員会報告

平成二十七年四月十一日(土)十五時より千代田区二ツ橋日本教育会館に於いて東京都合気道連盟第三十二回評議員会が開催された。

百五十七団体中四十九名の評議員(三十八名オブザーバー参加)、委任状九十二名の計百四十一名の出席をもって行われた。まず司会者である大田副理事長の開会の辞により開始となり、続いて藤城理事長より「現在、加盟団体は百五十七団体と増え、今年度は都設立三十年の記念の年となります。本年度の記念事業といたしまして六月の練成大会、十月の演武大会があり両日とも都連初代理事長でもある現道主が出席されます。是非、今からご予定に入れていただきますようお願い申し上げます。また、年二回発行されており、広報に近い将来ホームページ上での公開に切り替えていきたいと思っております。」と挨拶をした。

議題は

- (一)平成二十六年度事業報告…小林副理事長
 - (二)平成二十六年度収支決算…菅原副理事長
 - (三) 監査報告…福島監事・堀越監事
 - (四)平成二十七年事業計画…小林副理事長
 - (五)平成二十七年収支予算…菅原副理事長
 - (六)その他…大田副理事長
- ・「東京都合気道連盟規約(細則)」
変更・改正について
・相談役の発表
進藤 芳子氏(合気道進藤道場長)
酒井 光雄氏(荒川合気会会長)



中村 文子氏(祖師谷合気会会長)
中山 茂氏(板橋区合気道連盟会長)
・参与の発表

石原 忠男氏(調布合気道会会長)
糸田 寛人氏(中央区合気会会長)

続いて十六時半より評議員会会場に隣接する光琳の間に於いて、情報交換会が行われた。小林副理事長から開会の辞が述べられた後、開会の挨拶を藤城理事長が行い、続いて尾崎顧問より「今年度は本部において人事異動

が発表され、道場長代行が道場長となり…」と挨拶を頂戴し乾杯へとつなげた。

その後、今回新しく、相談役となられた酒井光雄氏と参与の糸田寛人氏からの挨拶を挟んで懇親が深められる時となった。

開始から二時間をもって締め、参加者はお互いに得た新しい情報を胸に散開となった。

創立三十周年の年にあたり



東京都合気道連盟 理事長
藤城 清次郎

去る四月十一日加盟百五十七団体から

四十九名の評議員と三十八名のオブザーバーの皆さんにご出席頂き第三十二回の評議員会が、一ツ橋日本教育会館で開催されました。私共執行部の活動についてのご報告と本年度の諸行事の予定、予算についてご報告させて頂き、ご承認を頂きました。この中には、今、お読み頂いているこの広報についてもご提案させて頂きました。今年度を最後に、広報の紙ベースでの発行を中止し、ホームページ上で発表する形に変更する事についても、ご承認頂きました。この評議員会を機に今年度が実質的にスタートいたしました。

今年度は、昭和五十九年十一月に本連盟が発足し三十周年の記念の年となりました。そして、去る六月十四日(日)には記念事業の一環として、東京都合気道連盟創立三十周年記念練成大会「道主特別講習会」が開催されました。初代理事長である道主に特別講師をお引き受け頂き、記念の大会に相応しい講習会でした。加盟団体から約五百名の参加者がありました。東

京武道館大武道場がせまく感じるほど盛況で、熱心に講習を受けられる様子に主催者として大変嬉しく思いました。又、特別講師をお受け頂きました植芝守央道主に深く感謝申しあげると共にご参加の皆様に変更して御礼申しあげます。

尾崎响全日本合気道連盟理事長、白川勝敏宮城県連会長、三輪明埼玉県連理事長にはご多用にも拘わらず開会式にご出席頂き、誠に有難うございました。

続く情報交換会には、尾崎响全日本合気道連盟理事長、近県から武田義信神奈川県連理事長、三輪明埼玉県連理事長、吉川滋千葉県連理事長、齊藤周二副理事長、更に白川勝敏宮城県連会長にもご臨席頂きました。この情報交換会では、道主みずから親しく各テーブルをお回り頂き、親しくお言葉を交わされ参加者と楽しい時を共有して頂きました。

さて、来る十月二十五日(日)には、植芝守央道主をお迎えし、創立三十周年記念の一環として記念の演武大会を開催いたします。道主には演武大会の最後の締めくくりには総合演武をご披露頂く予定です。更に多くの会員の皆様にご参加頂き、三十周年をお祝いしたいと思っております。合気道界の中心は、日本であり日本の中心は東京であるとの自覚のうえになお一層合気道の発展に寄与したいと思っております。結びにあたり、今年度も東京都合気道連盟の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

生涯スポーツ功労者の表彰を受けて

江戸川環七合気道クラブ代表 木下 悦子

去る五月十日東京都合気道連盟のご推薦にて、公益財団法人東京都体育協会より生涯スポーツ功労者の表彰をいただきました。光栄きわまりないこの表彰をいただき、身の引き縮まる思いをしております。

私の合気道は北マリアナ連邦のサイパン島で峰岸睦子先生との出会いから始まりました。自宅から職場、職場から道場、道場から自宅がそれぞれ車で五分という環境であつた為、一年三百五十日の稽古に明け暮れました。道友にも恵まれ、また、日本から近いこともあり、たくさんの方が日本から稽古に来島してくださいました。すでに故人となられましたが大谷一枝先生、市塚勇先生も稽古に来てくださいました。



日本には一九九九年に帰国しましたが、浦島太郎の私に大谷先生、市塚先生からはいろいろお声掛けをいただき、合気道を続けるきっかけとなりました。また、本部道場合気道学校に入学し、植芝守央道主先生、関昭二先生、大澤勇人先生、小林幸光先生にご指導いただき、現在にいたっております。

江戸川環七合気道クラブはサイパン時代の峰岸先生の熱ある指導に影響を受け、指導を始めました。また木下道場は江戸川環七合気道クラブで育つた高校生が部活で稽古時間が合わない等の諸事情を解決する為に、自宅一階を道場に改装し設立しました。会員としてご父兄の多大なご協力をいただき、小さいながら充実した稽古を続けております。

このスポーツ功労者の表彰をいただきましたのは、ひとえに、今日までご指導いただきました、植芝守央道主先生、本部道場の諸先生方、尾崎响先生、峰岸睦子先生、東京都合気道連盟の役員の皆様、江戸川環七合気道クラブそして木下道場の皆様、今まで一緒に稽古をしてくださったすべての道友の支えによるものと心より感謝し、御礼を申し上げます。と同時に、皆様からご教示頂きました数々のことを糧として日々精進していく覚悟でございます。本当にありがとうございます。

第五十三回全日本合気道演武大会報告

五月二十三日正午より日本武道館に於いて第五十三回全日本合気道演武大会が開催された。演武者約七千八百名、観客は二万人を超えた。

東京都合気道連盟に加盟する各団体も各々出場し、日頃の鍛錬の成果を披露した。また、今大会の指導者演武では土井道場の宮尾聡二氏(四段・四十九歳)が東京都合気道連盟の推薦を受けて演武をした。米重貴明氏(武段)と宮尾祥平氏(初段)が受け取り、熱気ある演武が披露された。

演武に先立ち宮尾氏は「このような伝統ある大会、しかも日本武道館で演武させていただけますことは身に余る光栄です。ご推薦いただき誠にありがとうございます。精一杯演武させていただきます。」と緊張した面持ちで語っていた。さらに演武後に「昨年の東京都合気道連盟演武大会に続き、このような大きな大会で演武させていただきましたこと誠にありがとうございます。十数年前の初出場の道場演武の際は、日本武道館で迷子になり危うく遅参寸前という失態をしかした私が、このような大役が務まるのか迷いはありましたが、入門時にお世話になった故土井輝充先生なら『頑張らなさい』と言ってくたさ

ら」と思いお受けした次第です。演武にあたり本部道場 鈴木俊雄先生、土井道場 漆原保先生にご指導いただきながら稽古に励みました。当日の日本武道館の熱気と緊張感は今思い出しただけでも高揚します。自分の未熟さと平常心を保つ難しさを痛感いたしました。今日までご高名な先生方や素晴らしい先輩方との出会いがありました。また、たくさんの稽古仲間や時には後輩からも良い刺激を受け、修練し合える仲間にも恵まれました。今後も今以上に稽古に励みたいと思う所存です。最後になりましたが、このような機会を与えてくださいました東京都合気道連盟の皆様、土井道場の道友達に感謝申し上げます。ありがとうございました。」



(中央：宮尾氏)

東京都合気道連盟創立三十周年記念 平成二十七年度東京都合気道錬成大会 道主特別講習会

平成二十七年度東京都合気道錬成大会は、東京都合気道連盟創立三十周年を記念し、植芝守央道主をお迎えして、東京武道館大道場で道主特別講習会として開催された。

午後十二時三十分植芝守央道主を中央に参加者全員で記念写真を撮影、その後、十二時四十五分から開会式となった。

国家斉唱の後、小林正明副理事長の開会の辞に引き続き、主催者である藤城清次郎理事長が東京都合気道連盟は、昭和五十九年十一月に結成され、これにめでたく三十周年を迎える事になりました。今日までご尽力頂いた道主始め、関係各機関、歴代理事長、役員の皆様、本部の諸先生方、会員の皆様にご感謝申し上げます。」と挨拶。次に植芝道主より「東京都合気道連盟発足三十周年記念としての平成二十七年度東京都合気道錬成大会の開催おめでとうございます。東京都合気道連盟は、発足以来、現在では百五十九団体、八千人を有する連盟になりました。この錬成大会を機に相互の絆をより一層深

められ、更なる発展・充実をされる事を願います。」と挨拶。最後に長達矢東京武道館館長より「東京都合気道連盟創立三十周年記念錬成大会誠にありがとうございました。連盟のごうた大会は東京武道館に於いて他の団体の大会と比べても最も参加者が多い大会となっており、当館として感謝を申し上げる次第であります。」と挨拶があった。

午後一時より道主の特別講習会が始まり、道主自ら、立技・座技・半身半立技の各種基本技を示され稽古を指導した。「合気道は取りと受けがその技を真摯に稽古することに意義があり、決して争うようなことはしないことです。」と懇切丁寧に説明された。約五百名の参加者は皆、最後までしっかりと吸収しようと真剣に稽古に取り組み、午後二時三十分予定通り道主特別講習会は終了した。

午後四時三十分から会場を千代田区の日本教育会館に移し、百二十名の出席者で情報交換会が開かれ、盛会の内に終了した。



平成二十六年年度東京都(足立区) 地域社会合気道指導者研修会報告

平成二十七年一月三十一日(土)二月一日(日)、東京武道館第二武道場に於いて二日間の研修が行われた。参加者数は二日目百七十三名、二日目百五十九名であり二日間通しの参加者数は百四十八名であった。

午前十時より開会式開始。主催者挨拶として島村宣伸日本武道館常任理事、長達矢東京武道館館長よりそれぞれ開催に先立ち挨拶。続いて藤城清次郎東京都合気道連盟理事長より怪我の無いようとの注意喚起を交えての言葉があり、今回担当される菅原繁師範・難波弘之師範・里館潤指導員の先生方の紹介が行われた。開会式が終了した後、参加者全員での写真撮影が行われた。



午前十時十五分より十一時四十五分まで難波師範による実技「基本の動き①」と題して講習開始。片手取で入身転換・呼吸法・入身投げ・呼吸投げに入り、ここで場所

に広さから人数を半分に分けての実技となった。続いて第一教・呼吸投げ・四方投げと数々の片手取による基本の動きの夫々のポイントの説明を交えながら解説。細かい指摘も交えながらの指導があった後、自由技となった。難波師範は「自分が自由なのではなく、相手の気を感じて自由に行う、上からくる気もあり、下からくる気もある」との説明した。

一時間ほどの休憩後に地元講師として藤城都連理事長・大田都連副理事長から



「第二回全国指導者研修会の報告と東京都合気道連盟の現状と展望」の講義が二時間強を要して行われた。

午後の実技が始まる前に美濃部都連理事より道場での講習中の注意があり、各自普段から忘れがちなことを思い出して後半の講習へと臨んだ。

午後二時半から四時まで菅原師範により「稽古法について①」と題して講習が始まった。片手取呼吸法・四方投と続いた後、菅原師範は「ここで作りたいのは残身・間合いであり、そのための稽古法である」と

説明した。菅原師範は独自の受身の稽古法を指導され、道場のレベルを上げるには受身のレベルを上げないと、その道場のレベルは上がらない」と話された。初心に帰っての受身稽古は苦戦者が続出していた。各技を通して相手の間合いを見ながら受身をとる等、多くの稽古法を話され、最後に座技呼吸法にて一日目の講習を終了した。

二日目は午前十時から難波師範の実技「基本の動き②」が二時間に亘り行われた。片手取入身転換で自分自身の縦軸中心を大切に指導をしながら技が進められた。

一時間の休憩後に午後一時半から三時四十五分まで菅原師範の実技「稽古法について②」が行われた。

片手取の技の後に菅原師範が前日の受身の続きとしてU字の曲線を描いての受身を披露。この稽古はヨーロッパでよく行われると説明した。

素振りが基本となつて技が出来ていると説明を受け、多くの基本技に入ると同時に受けを取る側の動きも合わせて説明指導を受けることが出来た。

閉会式では長東京武道館館長が参加者代表修了証を授与した。その後講師講評として先生方が感想と感謝の言葉を述べた。

二日間の講習で多くの事を新たに学ばされたと同時に、合気道を稽古する者としての礼節も再認識させられ充実した講習となった。参加者は皆、各道場に戻られてから技だけでなく、至誠の人をつくる精神をもって稽古に指導にと精進されることだろう。

新加盟 ①
合気道
南田中道場

道場長 山嶋 武



当道場は、自宅の改修を機に、合気道の稽古ができる程度のスペースを道場として活用し、二〇〇一年から稽古を開始しています。当初は地域の方々に合気道を楽しんで頂きたいとの思いが強くなりましたが、現状は、私が稽古していた都庁や今も稽古している千代田区合気会など古くからの稽古仲間、友人を中心に稽古に励んでいます。長期に稽古している方が多く、道場が狭いことから各武道に共通の体の使い方、相手の力の活用、各技の成り立ち等の研究をじっくりと行っています。皆、合気道の奥深さを思い、面白さ、楽しさを満喫しています。

当道場での稽古の他、日曜日、祭日には公共の道場で他団体の仲間にも参加願いや大きな技や剣・杖、多人数掛け等の稽古を行っています。更に毎年春には鹿島神武殿道場での合宿や他団体主催の合宿に積極的に参加し、多くの合気道仲間との交流を図っています。

都連への参加を機会に、今後、広く皆さんとの交流を図っていきたく考えています。

新加盟 ②
合気会
おあしす

会長 大島 啓義



二〇一〇年十二月から某スポーツジムにて前会長、杉並合気会の加藤弘八段師範の指導が始まり、より稽古がしたいとの会員の要望から設立。当初は、某スポーツジムの会員のみの稽古でした。その後一般からの会員も増え、二〇一二年四月以降から本格的に一般の会員を募集しました。現在二歳〜六十歳以上の老若男女が参加しています。

会員のより良い稽古をと考え、今回連盟への参加を決めました。

毎日、子育てで忙しい主婦の方々でも、参加できます。

「楽しく和気あいあい」をモットーに小金公園内にある小金井体育館、小平市花小金井武道館で日々稽古しています。

新加盟 ③
合気道石田塾

塾長 石田 道史



二〇一〇年に創設し、今年で丸五年目を迎えました。荒川区を拠点に少年少女部四十名、一般部二十五名、計六十五名で「怪我をしない、させない」をモットーに月曜日から木曜日と週四日稽古をしています。

全国少年少女武道練成大会、全日本演武大会等に積極的に参加し、他道場のよい所を吸収しています。

少年少女部においては、人の目を見て、聞いて、礼を大切に自ら積極的に行動し、友人とも交流できる人づくりを目指し指導しております。一般部では、毎月一回合気会本部道場指導部・宮本鶴藏師範のご指導のもと、少しづつ成長の意識を高めています。また、年一回、石田塾独自の演武会を開催し、日々の成果を皆様に見ていただいております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

東京都合気道連盟
三十周年記念誌に
ついて

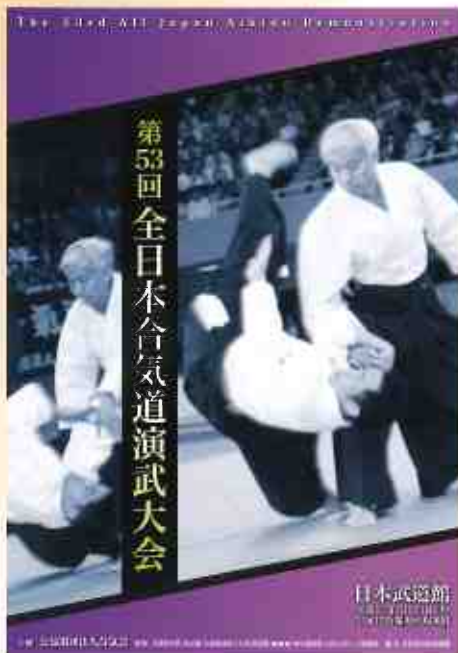
東京都合気道連盟では創立三十周年を記念して三十周年記念誌を発行いたします。

内容は祝辞、加盟団体から三十周年にあたっての一言、連盟のあゆみ、歴代役員一覧、等々を企画しております。

三十周年の節目に相応しい記念誌にしたいと考えておりますが、それには加盟団体の皆様のご助力が不可欠です。

後日、加盟団体には三十周年の原稿依頼等を送付いたしますのでご確認の上、ご協力いただけるようお願いいたします。

東京都合気道連盟三十周年記念誌
作成委員会 委員長 小林 正明



第53回 全日本合気道演武大会DVD

9月1日発売!

平成27年5月23日(土)に開催された「第53回全日本合気道演武大会」のDVDが完成しました。

■ 本編180分 ■ 価格4,500円(税・送料込)

★内容：植芝守央道主の総合演武をはじめ、師範・指導者演武

★申込み方法：

名前、住所、電話番号、所属団体を明記の上、下記まで直接ご注文下さい。DVDと一緒に請求書が送付されますので、金額をお振込み下さい。

制作販売：国際企画センター

〒143-0024 東京都大田区中央5-18-1

FAX 03-3755-1258

E-mail : o.aikido@kind.ocn.ne.jp

合気道広域合同稽古のお知らせ

第3回 平成27年9月17日(木) 18:30~20:30

講師 伊藤 眞 (公財)合気会本部道場指導部師範

第4回 平成27年11月12日(木) 18:30~20:30

講師 森 智洋 (公財)合気会本部道場指導部師範

第5回 平成28年1月21日(木) 18:30~20:30

講師 櫻井 寛幸 (公財)合気会本部道場指導部師範

第6回 平成28年3月17日(木) 18:30~20:30

講師 佐々木 貞樹 (公財)合気会本部道場指導部師範

◆場 所：東京武道館第一道場

◆対 象：中学生以上、全く始めての方でも参加できます。

◆参加費：一般500円/中学生250円(東京武道館の受付でお支払いください。)

★問い合わせ：[東京武道館サービス担当][電話]03-5697-2111 まで直接ご連絡ください。

平成二十七年 東京都合気道演武大会

平成二十七年年度東京都合気道演武大会が左記のとおり開催されます。昨年は参加団体八十八、参加者千百名と多くの人が参集しました。加盟団体が百六十団体となった今、昨年を上回る参加者を期待します。

◆期日 十月二十五日(日)

◆場所 東京武道館大武道場

◆開場 午前十一時

◆開会 正午

◆閉会 午後三時予定

◆主催 東京都合気道連盟

◆後援 東京都

(公財)東京都体育協会

(公財)東京都スポーツ

文化事業団

(公財)合気会

全日本合気道連盟

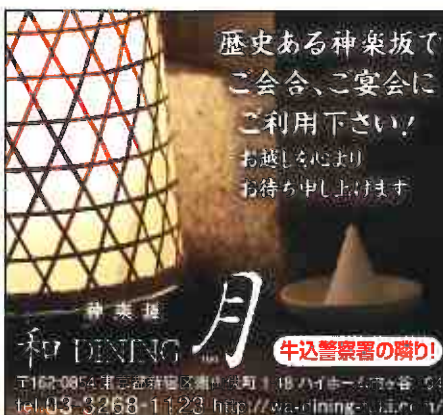
◆内容

各加盟団体演武

各加盟団体代表者演武

総合演武

歴史ある神楽坂で
ご会合、ご宴会に
ご利用下さい！
お越しの心より
お待ちしております



ダービー印製品販売元・タオル・本染手拭・名入卸



株式会社 堀内

本社 豊島区高松1-10-5

電話：03-3973-0710

FAX: 03-3973-0991

電話：03-3959-2071 (夜間)

E-mail: horiuch-towel@honey.ocn.ne.jp

今年、いつ梅雨に入ったのかはつきりしない毎日、むしむしとした中の稽古、お身体に充分気を付けて下さい。

東京都合気道連盟は、創立三十周年にあたり、記念として六月十四日の練成大会・道主特別講習会を開催し、秋の十月二十五日の記念演武大会も道主をお迎えして総合演武をしていただきます。

演武大会には、昨年を上回る参加団体、参加者を期待しております。(小林記)

編集後記

